

(様式5)

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月 26日

事業所名 児童デイサービス はびてい

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8		・職員の目が届きやすい開放的なスペースで国の設備基準以上の広さがあります。	・定員を超えないように調整しています。
	2 職員の配置数は適切であるか	8		・国の人員配置基準に加え、1名多く配置しています。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	8		・屋内は段差がなく、玄関のスロープやトイレの手すり等、車椅子の方も利用しやすくなっています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	8		・座位保持装置やクッション等を身体機能に合わせて使用したり、発達段階に合わせたおもちゃを使いやすいように設置しています。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	8		・毎日の職員ミーティングでの振り返りを行っています。	・評価を重視したPDCAサイクルに取り組み、療育の質の向上を目指しています。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8		・年1回のアンケート実施により、業務内容の改善につなげました。	・評価表に表れない、日々の意向に対しても、取り入れ改善しました。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8		・当社ホームページに公開しています。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	4	・第三者委員は設置していますが、コロナ禍で中止し、再開できていません。	・感染状況に留意しながら再開を検討しています。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8		・虐待防止、感染対策のほか、脳性麻痺・発達障害などの疾患別の研修を行っています。	
	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	8		・身体・精神・発達などの細やかな視点による評価と、将来を見据えたプランを重視しています。	
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	8		・成育歴、発達過程、既往歴及び日々の困りごと等の標準化した調査票を使用しています。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	8		ガイドラインに則り、健康状態や発達段階を把握し、身体機能に合わせた運動や休息、感覚面へのアプローチ、食事・排泄の支援、生活習慣の獲得、社会性の向上、家族支援などを具体的に設定しています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	8		・カンファレンスを行う際、職員同士で課題と方針の共有を行い、計画に反映させています。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8		・活動担当と訓練担当を中心にチームで行っています。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8		・固定化しないよう年単位で大まかな計画を立て、利用児の意見を取り入れています。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	8		・午前と午後の活動は集団を基本として、個別の訓練等は保護者と相談しながら決めています。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8		・支援前に常勤職員間で打ち合わせを行い支援の役割や内容を確認しています。非常勤職員には出勤時に口頭で伝えています。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	8		・支援終了後の打ち合わせでは、支援の振り返りの他、保護者との会話や学校の情報などの共有を図っています。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8		・利用時には必ずゲーネ記録を取り、その内容を計画書の立案に活かしています。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	8		・6か月に1度モニタリングとカンファレンスを行い、計画書の見直し、変更をしています。	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8		・児童発達支援管理責任者が出席したが、コロナ禍により開催されていません。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	8		・地域の支援相談員との連携の他、市の自立支援協議会に出席しています。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	6	2	・地域の支援相談員を窓口支援しています。	・医療や教育との連携の強化を検討しています。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	5	3	・主治医と直接連絡を取ることにはしませんが、保護者から書面または口頭にて経過や情報を得ています。	・必要に応じて、主治医の意見を保護者から聞き取ります。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	8		・保護者からの聞き取りや書面での情報収集を基本とし、必要があると判断した場面のみ、保護者からの許可を得て連絡を取っています。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	8		・小学校や小学部との情報共有を行っていますが、保護者を通じた理解の方が多いです。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	8		・児童発達支援センターからの問い合わせや、情報提供などを行っています。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4	4	・障がいのない子どもとの機会は設けていませんが、複数の支援学校や普通校の支援学級の児童と関わる機会があります。	・障がいのない子どもとの交流の機会を検討します。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	8		・法人から1名、盛岡市自立支援協議会の委員として参加しています。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	30	8		・帰りは保護者のお迎えなため、毎回その日の様子や最近の様子などを共有することができています。	
	31	8		・身体の相談や、発達の相談、装具の相談等に関して支援を行っています。ペアトレは職員が受講しました。	
保護者への説明責任等	32	8		・契約時の細やかな説明に努め、変更時などは個別に説明しています。また、画一的にならないように丁寧な相談を行いながら支援内容を計画しています。	
	33	8		・ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」に基づいた計画と説明を行っています。	
	34	8		・利用中のことだけでなく、家庭での過ごし方や、兄弟との関係、卒業に向けての課題等、幅広く相談支援を行っています。	
	35	5	3	・保護者会には消極的な意見が多かったことから開催していませんが、保護者同士の集まりなどに会場提供を行っています。	・次年度の開催を計画しています。
	36	8		・岩手県福祉サービス運営適正化委員会の委員を招いて行った研修資料を用い、苦情に関する対応・理解に努めています。	
	37	8		・毎月、広報誌を発行し、活動や行事などを子どもや保護者に発信しています。	
	38	8		・契約時に個人情報保護に関する説明と使用に関する同意書をいただき、職員は「守秘義務に関する誓約書」を順守しています。	
	39	8		・保護者と相談し、個々の利用児に合わせた意思の疎通や理解に努めています。	
	40	4	4	・コロナ禍ということもあり、地域に開かれた事業運営に至っていません。	・地域に開かれた運営を検討します。
	非常時等の対応	41	8		・各種マニュアルを策定し、職員への周知や研修会を行っていますが、保護者への周知はできていません。
42		8		・年に2回、火災や洪水時の避難訓練を行っています。	
43		8		・契約時に内服や発作時の状況、緊急時の対応（救急車を呼び〇〇病院に搬送など）を確認し、内服内容の変更時は報告を頂いています。	
44		7	1	・アレルギーは保護者からの聞き取りを中心に対応しています。	・必要に応じて指示書の提示を求めます。
45		8		・事業所内で共有しています。	
46		8		・毎年、虐待防止についての研修を行っています。	
47		8		・身体拘束は行っていませんが、事業所内で研修を行い身体拘束の理解に努めています。	